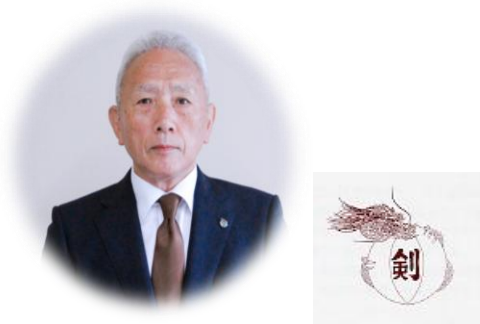


2025年(令和7年)の年頭のご挨拶

(一財)長崎県剣道連盟 会長 灰谷達明



長崎県剣道連盟の更なる充実・発展を目指して、新年のご挨拶を申し上げます。5年間に及ぶコロナ禍によやく終息の目途が立ち、本来の稽古や試合などの行事が順調に回復しつつあるように思われます。

コロナ禍における暫定的な試合・審判法及び稽古法の規制などの苦しみを乗り越えつつあることに、剣道と剣道人の不屈の闘志に改めて感服いたします。

さて、本県の剣道界として各種大会等における実績や成果を挙げることは勿論ですが、剣道人がこぞって稽古に参加し、清々しい汗を流すこと「流汗洗心」をモットーに充実した稽古を目標に掲げてまいりました。

本剣道連盟の合同稽古会は従来の4か所から県北(佐々)と島原を加えて6か所で計画され、既に5か所で実施され、何れも多くの参加者を得るところとなっております。

また、隣県佐賀で実施されました第78回国民スポーツ大会では少年男子が驚異的な粘りで3位入賞、成年男子も堂々の戦いを展開しました。10月に開催されました全国警察剣道大会では2部で3位の成績を収め、次年度は1部へと昇格することになりました。8月の全国通信制・定時制剣道大会では昨年の佐世保工業高校定時制の中山敬心さんに続いて今年は佐世保中央高校通信制の高橋ひなさんが本県勢として2年連続の個人優勝に輝きました。7月のイタリアにおける世界大会では本県出身者が男子決勝戦に2名出場し、見事世界1位に輝きました。更に特筆すべきことは世界大会において初の女性審判として福田美佐子剣道教士7段が堂々の使命を果たしたことが忘れられません。

その他、全剣連の公式行事である九州ブロック「骨太」錬成会「指導法」講習会が円滑に実施され、成果を挙げられたのは、会員の皆様の献身的協力のお陰に他なりません。

5月の京都大会におきましては、平井節朗剣道八段の誕生、片山倉則剣道範士受称に沸きました。

11月には念願の「二道体験会」を実施することができました。高木志伸居合道部長、橋本幸一杖道部長のリーダーシップは見事でした。

地球規模の気象変動や世界に広がる紛争や暴力の連鎖は今後も大きな懸念要因ですが、新しい年も剣道人は夫々の矜持を以ってその理念達成を目指して参りましょう。

<p>第78回国民スポーツ大会剣道競技 少年男子3位入賞 (長崎県チーム 少年男子の部)</p>	<p>第68回全国警察剣道大会 2部3位入賞 (長崎県警察チーム)</p>	<p>全国通信制・定時制剣道大会 女子個人の部 優勝 高橋ひな (佐世保中央高校 通信制)</p>
<p>本剣道連盟主催合同稽古会(佐世保)</p>	<p>二道体験会(居合道)</p>	<p>二道体験会(杖道)</p>